

# 藤里町公共施設等総合管理計画の概要

## 藤里町公共施設等総合管理計画策定の背景と目的……P1

### ◎計画策定の背景

- ・公共施設等が大規模改修や建替えの時期を迎え、維持管理や更新のコストが増大する
- ・人口減少により収収が減少し、財源確保が困難になっていく

### ◎計画策定の目的

- ・利用状況や維持管理コストを考慮しながら、長期的視点に立ち、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことで、財政負担の軽減を図り、総合的に公共施設等を管理するための方針を定めること

## 1. 公共施設等の現況及び将来の見通し……P2

### 老朽化の状況や利用状況をはじめとした公共施設等の状況……P2

#### ◎公共施設

- ・186施設、219棟、延べ床面積57,764㎡(H27年度末現在)
- ・一般的に大規模改修が必要とされる30年を経過している施設は46.8%(延べ床面積比)
- ・10年後には30年経過施設の延べ床面積が81.8%に増加
- ・耐震性が確保されている施設は75.4%

#### ◎インフラ施設

- ・道路実延長205,600m、橋梁数116橋、トンネル5箇所、上水道管路延長97,086m、下水道管路延長32,000mなど

### 総人口や年代別人口についての今後の見通し……P5

#### ◎総人口

- ・2040年には町の人口は1,820人まで減少すると推計(社人研による)
- ・2015年の52%にまで減少(およそ半減)

#### ◎年代別人口

- ・年少人口 2015年 294人 ⇒ 2040年 130人
- ・生産人口 2015年 1,687人 ⇒ 2040年 737人
- ・高齢人口 2015年 1,546人 ⇒ 2040年 953人

※すべての区分で減少が見込まれる

### 公共施設等の維持管理・修繕・更新等に係る中長期的な経費の見込みやこれらの経費に充当可能な財源の見込み等……P6

#### ◎歳入

- ・地方交付税への依存度が高く歳入総額の5割以上を占める
- ・自主財源である地方税は2.4億円程度だが人口減による減が見込まれる

#### ◎歳出

- ・維持補修費は概ね6千万円台
- ・投資的経費は6億円～8億円で推移

#### ◎公共施設等に係る経費の中長期的な見込み

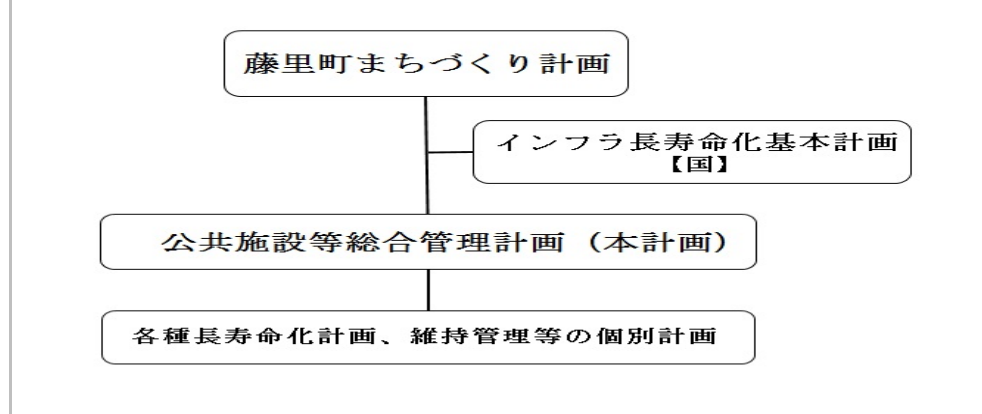
- ・公共施設等に係る今後30年間の経費の総額は375.7億円
- ・1年あたり12.5億円で、現状の7.6億円のおよそ1.6倍

## 2. 公共施設等の総合かつ計画的な管理に関する基本方針……P11

### 計画期間……P11

- ・2017年度(29年度)から2046年度(平成58年度)までの30年間
- ・進捗状況や社会情勢の変化に応じて適宜見直しを図る

### 全庁的な取り組み体制の構築及び情報管理・共有方策……P11



- ・藤里町まちづくり計画を本計画の前提とすることで、所管部署をはじめとして、企画部門、財政部門をふくめ、全庁的に情報を共有し、公共施設等の管理を総合かつ計画的に実施するための体制を構築します。

### 現状や課題に対する基本認識……P11

#### ◎課題と現状

- ・公共施設等の老朽化が一斉に進行し、大規模修繕や建替え等に係るコストが増大する
- ・人口減少と少子高齢化による、収収減や、社会保障費の増大等により財政状況は厳しくなる



これまでと同じ規模、手法で整備、維持管理していくことは困難

将来の人口動向や財政状況、住民のニーズの変化等を的確に捉える「身の丈にあった規模」となるように、各々の施設のあり方を見極める公共施設全体の最適化をする施設マネジメント

### 管理に関する基本的な考え方……P12

#### ◎点検、診断等の実施方針

- ・汚れ、損傷、老朽化の進行状況を日常・定期点検
- ・インフラ等については国から示される技術基準等に準拠
- ・点検結果を計画見直しや維持管理等の方針決定に活用

#### ◎維持管理、修繕、更新等の実施方針

- ・予防保全による、更新に至るまでの費用の縮減
- ・民間の資本やノウハウ活用の検討(PPP、PFI)
- ・地域の実情や利用見込みから更新は適正規模で

#### ◎安全性確保の実施方針

- ・危険性が認められた場合は安全確保の改修や供用停止
- ・高度の危険が認められた場合は速やかに使用停止

#### ◎耐震化の実施方針

- ・特定建築物は藤里町耐震改修促進計画に基づき推進
- ・それ以外の旧耐震基準の公共施設は費用対効果で判断

#### ◎長寿命化の実施方針

- ・点検診断等の実施により計画的に予防修繕
- ・施設の長寿命化を図り、改修コストの低減、平準化

#### ◎統合や廃止の推進方針

- ・施設設置の経緯や地域性を踏まえ、将来的な必要性を見極める
- ・統廃合、集約化による移転等で発生した空き施設は、他用途への転用、地域や民間事業者等への貸与、貸付、売却を含め検討
- ・複合化、多機能化ができる施設、設備等の共有が可能な場合は、積極的に機能統合を推進する

#### ◎総合かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

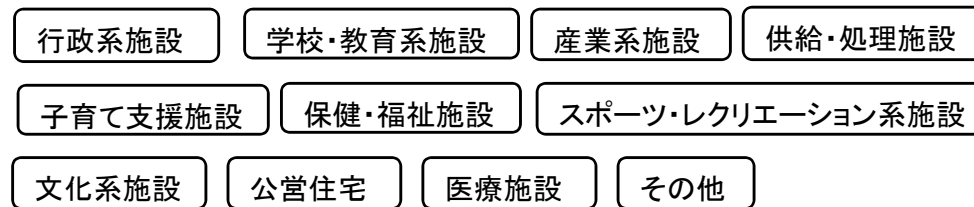
- ・藤里町まちづくり計画を本計画の前提とすることで、所管部署をはじめとして、企画部門、財政(予算)部門を含め、全庁的に情報を共有する

### フォローアップの実施方針……P13

- ・柔軟に見直し、社会情勢や個別施設計画との整合性を図る
- ・本計画の状況や見直し等については議会に報告する
- ・町ホームページに公表し住民との情報と認識の共有化を図る

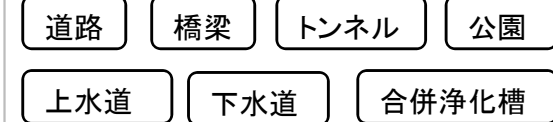
## 3. 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針……P14

### 公共施設……P14



それぞれの特性を踏まえつつ、計画的な維持管理、更新等を行い、総量についても検討していく

### インフラ施設……P19



国の計画や個別計画に基づき、予防保全維持管理による修繕を行いトータルコストの縮減及び平準化を図る